

第61回津久井地区まちづくり会議全体会結果

- ・日 時：平成30年4月17日（火）午後7時00分～9時00分
- ・場 所：津久井総合事務所3階第1・2会議室
- ・出席者：委員20名出席（5名欠席）
- ・傍聴者： 0名

1 開 会 関戸副代表

2 あいさつ 落合代表

代表からのあいさつの後、事務局から職員の人事異動に伴う新担当者の紹介を行った。

3 報告事項

（1）公募委員選考結果報告

公募選考委員会を4月12日に開催し、応募があった3名の選考を行ったところ、全ての方が全員一致で選任されたことが、落合代表より報告された。

（2）副代表からの会議報告

関戸副代表より、3月27日開催の「緑区区民会議」に参加した結果報告に加え、青根地区に青根出張所、青根公民館、消防署青根分署の複合施設が完成し、3月29日に落成式が行われたとの情報提供がされた。

< 区民会議の主な報告内容 >

- ・地域活動の情報発信に関するアンケート結果報告について
- ・情報発信に係る課題の解決方法について

4 協議事項

（1）地域活性化事業交付金について

はじめに、新規事業の申請団体の代表者からプレゼンテーションがあり、質疑や意見を聞いた後、事務局から、継続事業の説明を行い、皆様から意見を伺った。

< 新規事業 >

【事業名】津久井こども食堂（団体名：食生活改善推進団体わかな会津久井地区）

申請額 40万円

[団体代表者の説明要旨]

核家族化や両親の共働きにより、子供の孤立化と孤食化が見受けられる。そのことを教育の現場等で発見することは難しく、食の支援とともに、親御さんのコミュニティの場とするため「こども食堂」を計画した。

3月25日には、津久井中央公民館で試行を行い、約90名(子供50名・大人40名)の参加があり、参加者からは是非続けてほしいとの声が多く聞かれた。

今後は学校と連携しながら、食の提供だけではなく、子供とのコミュニケーションの場と、食材を提供いただけるボランティアなどを募り、体制の強化を図っていきたい。

<委員の主な意見>

- ・ 開催は津久井地区の中野エリア限定になっているが、今後は津久井全域で活動できるような体制づくりを考えてほしい。例えば小学校区を巡回する等。

地区全域に普及させるためには、人材が必要であり、ボランティアなどの育成に力を入れていきたい。

- ・ この事業が普及すると、地域活性化事業交付金だけの経費では継続が難しいのではないか。

今後の課題とします。まずはこの事業を成功させ、判断していきたい。

<新規事業>

【事業名】ふらっとまるっと津久井特産祭(団体名:津久井都市農村交流協議会)

申請額 40万円

[団体代表者の説明要旨]

市では金原地区で「農業」「観光」「交通」を生かした新たなまちづくりを進めており、このうちの「農業」の分野で津久井地区の農産物の魅力を多くの方に情報発信をしたい。

もともと、昨年、一昨年と、国からの補助金を使い実施していた経過があり、せっかく地区の農産物をPRする機会を得たので、今後も地域事業として継続していきたい。また、PRだけでなく、相原高校や相模女子大と連携し、若者を取り込みながら事業を進めていく予定です。

<委員の主な意見>

- ・ 津久井郡農協との連携は取れているのか。また資金提供はあるのか
事業実施団体のメンバーに農協も加わっているので、連携はとれています。
残念ながら、資金提供はありません。

- ・ 新規就農者の支援に加え、農産物のPR。例えば道の駅の前身となるなど、農業を衰退させないような取組みとして欲しい。年1回のイベントだけでなく、通年を通して開催していると、金原地区のさらなるアピールとなる。

新規就農者も「津久井都市農村協議会」に参画しており、意見等は反映していきたい。また、イベントは年1回ですが、これは、1年間の集大成としての行事なので、これ以外の活動も積極的に実施しています。

次に事務局から、継続事業6件に加え、相談があった2件についての事業説明を行い、皆様から意見を伺った。

NO	事業名	新規 継続	団体名	H30相談額
				(H29交付額)
	花を植えよう事業	継続 9年	花を植えよう会	300,000 375,000
	道志川写真 コンテスト事業	継続 9年	道志川写真コンテスト 実行委員会	100,000 120,000
	津久井湖城山イルミネーション事業	継続 9年	津久井湖城山イルミネーション 実行委員会	600,000 750,000
	里山を活かした子どもの遊び場と おとなのコミュニティスペース	継続 7年	土沢森あそびの会	100,000 100,000
	休耕田を復活し 災害に強い棚田を守る事業	継続 5年	農園会	135,000 135,000
	青根未来遺産プロジェクト	継続 4年	あざおね社中と与する上青根の会	150,000 300,000
	こども食堂	新規	食生活改善推進団体わかな会 津久井地区	400,000
	ふらっとまるっと津久井特産祭	新規	津久井都市農村交流協議会	400,000
	自治会加入促進事業		津久井地区自治会連合会	200,000 -
	まちづくり会議が提示した 地域課題の解決に資する事業		津久井地区まちづくり会議	200,000 200,000

< 事務局説明要旨 >

- ・ 事業 については、継続9年目であることや、新規事業との兼ね合いもあり、昨年度交付額の80%相当額で調整をしたこと。
- ・ 事業 については、継続4年目となり、地域活性化事業交付金要綱によると「補助対象経費の2分の1以内の交付」が規定されており、半分の15万円で調整したこと。
- ・ 事業 については、同要綱では「優先的な対象事業」として位置付けられていること。

< 委員の主な意見 >

- ・ 事業 については、継続9年目と長期に渡っているが、それぞれが各地区を代表する事業であり、継続4年目の時点ですでに半額となっており、良く努力していると評価できる。さらに20%を減額すると、団体には厳しい措置となるため、可能であれば、昨年度に近い額を交付しても良いのではないかと。予算担当課や、他地区とも調整を行ってみます。

【結果】

事業 については、交付額を再調整し、事業 から は原案どおりとなった。

(2) 次年度のまちづくり会議について

第5期まちづくり会議では、次期総合計画の見直しに向けた取組みが予定されており、新体制でのスタートを円滑に運営するため、現委員からの申し送り事項を以下のとおり決定し、5月18日に予定している新体制の第62回全体会で報告することとなった。

< 申し送り事項（決定事項） >

- ・ 現行の2部会制を継続する方向で、委員に大きな変更がない場合は、原則同じ部会に所属する。
- ・ 定例の全体会日程に併せて、次期総合計画に向けた取組みも実施する。
- ・ 平成30年度津久井地区まちづくり会議事業計画

5 その他

○出席者全員から、第4期の委員活動を振り返っての感想等が述べられた。

○その他連絡事項

- ・「買い物及び移動支援に関するアンケート調査結果報告書」について

つくい元気部会が取組んだ「買い物及び移動支援に関するアンケート調査結果報告書」を委員に配布するとともに、結果報告書については、今後、津久井地区内の単位自治会に回覧をする予定である旨を伝えた。

- ・「カヌースラローム大会 in 道志川」について

内田委員より、4月29日にカヌースラローム大会が道志川の弁天橋下流で開催されるとの情報提供があった。

次回の全体会日程 日時：平成30年5月18日（金）午後7時～

場所：津久井総合事務所3階 第1・2会議室

6 閉 会 高井副代表